



発行日：令和6年6月10日

コーヒーが冷めないうちに

川口俊和  
舞台は時間を越えた喫茶店で登場人物たちは過去と対話し、未来への一步を踏み出す場面に感動しました。過去に行くにも特定の場所で不規則な厳しい条件があるにもかかわらず、後悔したものを解決したいという機会を逃がさずに掴む登場人物たちの執念深い熱い思いが心に刺さりました。

中村賢汰先生



皆さんは最近のアニメを見ているでしょうか？4月から始まっているアニメの中で「忘却バッテリー」と「夜桜さんちの大作戦」にはまっています。どちらもジャンプ作品で、夜桜さんの方は最近妹をハマらせることに成功しました。

忘却バッテリーの方は、友達に紹介したらハマってくれました。(何故か私が紹介したアニメはみんなハマってくれるので、とても嬉しいです。)少し話が変わりますが、最近のアニメは深夜帯に放送されているものが多いのですが、夜桜さんは日曜日の夕方5時に放送されているのです。裏社会が舞台となっているのに子供に見せていいものなのか、と思いながらもTVerで見えています。リアルタイムで見られないのが現状なのです。今回紹介したアニメを是非“余裕があるときに”“見てみてください”。

その時までサヨナラ



チョコレートコスモス

恩田陸  
幼いころから舞台に立ち、多大な人気と評価を手に行っている響子と、舞台経験など一つもなく、大医学で芝居を始めたばかりの飛鳥。この二人が伝説の映画のプロデューサー、芹澤のオーディションに挑み、二つの才能がぶつかり合っていく物語です。演技に幅広さや深さの表現も素晴らしく、一つ一つの場面が思い浮かび、まるで一つの映画を見ているような気持ちになれます。映画や舞台が好きな人には特におすすめの作品です。登場人物たちの心情描写がとてもリアルで、ラストに向けてどんどん引き込まれていきます。演劇が好きな人も、まったく興味がない人も是非読んでみてください。

木谷先生



山田悠介  
この本は予想外の連続です。事故で妻を亡くし、シングルファーザーとなった父親が慣れない育児に悪戦苦闘する中、仕事もうまくいかず、途方に暮れる。そんな時突如として現れた女性によって起こる様々な出来事、父親の心情の変化、息子と父親の関係の深まりなどがとても面白い。徐々に明らかになる女性の正体にもご注目。読んでね。

鈴木克実先生

三省堂国語辞典

瀧本多加志  
国語辞典が好きで数少ない趣味として日常的によく紙の辞書を引きます。中でも近頃の暮らしにおいて特に使い勝手の良さを感じているのは『三省堂国語辞典』、通称『三国』です。新語に強い『三国』は、若い皆さんとのやり取りを通して生まれた疑問を解決するのにぴったり。ちなみに最近引いたのは「恋バナ」と「恋愛」です。

土田先生

